

市政を問う 一般質問
質問事項・答弁の要旨

西武国分寺線踏切交差は
附帯決議の立場で

日本共産党国分寺市議団 中山 幸子

問) 昨年12月に打ち出した緊急生活安全対策(来年3月末までのもの)の継続を。

答) 生活状況の厳しさは認識する。趣旨を踏まえ検討する。

★児童福祉の充実を

問) 保育料値上げ答申を1年凍結した市長(理由は厳しい生活状況だから)。凍結の継続を。

答) 厳しさは認識するが、答申の妥当性ある。

問) 待機児童解消は市長公約。前議会では認可園の誘致含めて増す指示なし。今後の計画は。

答) 3施設で300名。具体的には委員会で説明。

問) 保育園の最低基準の緩和が打ち出され、部長は「現基準を基本に」と答弁。市長は曖昧。

答) 現場の声をよく聞いて考える。

問) 認可外保育園保育料への補助を。それは、保育料の平準化の視点からのものか。

答) 不公平感の解消で平準化に結びつくことも。

★高齢者福祉の改善と拡充を

問) 介護保険利用料の負担軽減の復活を。各市の状況とその制度への見解を。

答) 26市中11市で住民税非課税世帯が対象。

問) 市の調査では利用料負担が多いと回答は約6割。保険料と同様に低所得者への対応を。

問) 介護保険料を納め続けても、例えば、入院すると介護サービスは利用できない。入院見舞金制度のようなものを対応すべきでは。

答) 検証してみたい。

問) 西武国分寺線踏切は暫定平面交差で対策を。

答) 附帯決議は暫定平面交差と認識しているが、それは厳しい状況なので、都に財政支援を要請。

既存の政策に思考停止せず、
柔軟な発想を

民主党・無所属クラブ 三葛 敦志

【1. 財政見通しと市の姿勢】

①来年度予算組みについて

答) デフレ傾向もあり、個人市民税は厳しい。

み) 国分寺駅北口再開発延伸の市長の判断は？

答) 状況悪化から仕方がないと判断した。

み) 選挙公約通りに進める指示を出すべきだった。政治家としての覚悟が不足している。

②事業仕分けの意義について

み) 自治体の予算委員会は国と違って予算審議を細かに行っており、いわば事業仕分けだ

③財政難の抜本的対策は市町村合併

み) 民主党政権は基礎自治体重視。自治制度の変遷に対応できるよう、政令市化も考えよ。

【2. 警察との連携強化を】

①スクールゾーンへの車両の進入問題について

答) 現行犯でないに対応が難しい。面(ゾーン)での対応から線(道路)への変更も検討。

②万引き対策と学校連携

答) 情報提供には個人情報の壁がある。

み) 個人情報に関わらない情報で充分だ。

【3. いずみホールの中の「優先予約」問題】

み) 市が複数日押さえると市民は予約できない。

答) 既に改善は図った。今後も連絡を密にする。

【4. ペットボトル収集改善を】

①廃プラスチックへのペットボトルの混入状況

答) 重量ベースで10%混入(初めて明らかに)

②ペットボトル収集の消極姿勢を改めるべき

答) 近隣でもこうした対応は当市だけ。

③民間の知恵も求め、新たな収集方法の模索を

答) あらゆる方策を考えたい。

特別支援教育推進
・真姿の池周辺回遊路構想

生活者ネット・市民クラブ 多良 京孝子

問) 「国分寺市特別支援教育(義務教育時)」には発達障害者支援法に準拠して対象とする障がい者を拡大するという文科省方針が反映されていない。早急に修正する必要あり。また義務教育の前後も含んだ0~18歳の子どもの育ちを見通し、教育、福祉、保健、医療、労働などの各分野が連携できる全体計画が必要では。

副市長) 前後計画は22年度着手。教育委員会と相談し全体計画に高めるよう努力する。

教育長) 現在の計画を見直ししなければならないと感じている。前後の計画についても関係の部と連携しながら一緒に作ってまいりたい。

問) 個々のニーズに添った支援が自分の通う地域の学校内で受けられるよう、すべての学校への環境整備を新計画に盛り込むべきと考える。

教育長) 22年度八小に通級学級、23年度三中に支援学級を設置予定。徐々に取り組んでいく。

問) 現計画推進委員の保護者代表枠は固定学級の保護者のみ。新計画の策定委員については通級、支援教室、介助員制度利用者、通常級の保護者など幅広く様々な立場の方に入っただき、行政では気づかない視点(放課後の通級設置等)を反映させることが必要である。

福祉保健部長) 広く呼び掛けていきたい。

問) リオン敷地内湧水口を市民が見られる形をとることで周辺観光資源を巡るルートが回遊路となり、保全の意識の共有につながるのでは。

都市建設部長) 市長、副市長とともに相手側の意向を確認済み。環境を守りながら皆さんに知っていただく観点で整備の方針を組み立てる。

医師が常駐する療養病床を
全力で守るべき

市民サイド 釜我 健二

問) 医師が常駐し、高齢者が安心して入院できる介護型療養病床の廃止(凍結中)は絶対阻止すべきだ。そのために市として全力を尽くせ。

部長) 継続を市長会・部長会で重点要望したい。

市役所西側(戸倉1丁目)水害の危険性は
問) 市役所西側の低地周辺は3・2・8号線買収済用地が次々とアスファルトで覆われている。雨水を吸収する設備もなく、緑地も全くなく、豪雨時の水害が大変心配されている。都に対して文書で水害の危険性の認識を確認すべきだ。

部長) これから指摘された懸念が出てくる。都に十分な対策と理解を求めていきたい。

副市長) 一度、部長とともに都と話をする。その上で議員のご指摘を含めて対応したい。

JRは地球温暖化防止にもっと協力を

問) JR中央線西国分寺駅周辺の掘削部の緑地がコンクリート吹付にどんどん変わっている。CO₂削減、緑地拡大による温暖化防止の流れに逆行では。

部長) JRに対してご指摘の趣旨で要請をしたい。

指定管理者制度の抜本見直しを

問) 市の指定管理者制度は①評価委員会がない、②評価シートがおそまつ、③基本方針の内容が更新されず極めて不十分、④公表が不十分など不備が多い。抜本的に改善をはかるべきだ。

部長) 5月の評価までには総合的に改善したい。

たばこ税の増大策強行とその有害性について
問) 市長は強い反対をおしきってたばこ税増大策を強行した。肺ガン、肺気腫等の病気に苦しむ市民を思えば、とびつく税ではないはずだ。

市長) 有害だが、合法であり税収確保策だ。

共に学び・育つ街に!

市民サイド 亀倉 順子

「共生の社会」実現にもっとも重要で、かつ時間を必要とするのが「心のバリアフリー」ではないか。幼い時から障がいを持つ友人たちと共に暮らす環境づくりは心のバリアを取り除くために必要な取り組みと考え、ユニバーサル教育について再び、質した。

問) どこで、どの様な教育を受けるか判断をする個別支援委員会に保護者も参加させ共に考え選択できる仕組みに工夫せよ。

教育長) 検討をする。

問) 障がいを持つ子どもへの支援は長期的に対応できる相談体制が必要だ。現在の年齢で対応する相談体制を充実・発展させよ。

教育長) 望ましいことだと思う。福祉関係と連携をし、考えてみたい。

問) 子どもの貧困率14.3%。ユニセフからは10%以下にすることを求められている。深刻化する経済格差。貧困により教育格差が生じない様に就学援助や奨学金制度の活用が年度初めだけでなく、年度途中でも申請できる様に工夫せよ。

教育長) 工夫してみたい。

情報を共有化し進めよ

問) 生ごみのリサイクル、新ごみ処理方法など情報や研究を市民と共有できる取り組みが早急に必要だ。新たに陶器リサイクルにも着手せよ。

部長) 早速、研究する。

問) 希少動植物が年々消えていく。調査には時間を待てない。市民参加で取り組みを。

部長) お鷹の道湧水群周辺から方策を探る。